

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公表番号】特表2007-524001(P2007-524001A)

【公表日】平成19年8月23日(2007.8.23)

【年通号数】公開・登録公報2007-032

【出願番号】特願2006-554058(P2006-554058)

【国際特許分類】

C 2 2 C 38/00 (2006.01)

C 2 2 C 38/48 (2006.01)

C 2 2 C 38/50 (2006.01)

C 2 2 C 21/00 (2006.01)

F 0 1 N 3/28 (2006.01)

【F I】

C 2 2 C 38/00 3 0 2 Z

C 2 2 C 38/48

C 2 2 C 38/50

C 2 2 C 21/00 E

F 0 1 N 3/28 3 1 1 U

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月17日(2008.1.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

質量 % で下記の組成：

N i ： 1 % 未満、

C r ： 1 5 ～ 2 5 %、

A l ： 4 . 5 ～ 1 2 %、

M o ： 0 . 5 ～ 4 %、

N b ： 0 . 0 1 ～ 1 . 2 %、

T i ： 0 ～ 0 . 5 %、

Y、S c、Z r および / または H f ： 0 ～ 0 . 0 5 %、

例えば C e または L a のような希土類金属 (R E M) の 1 種以上： 0 ～ 0 . 2 %、

C ： 0 ～ 0 . 2 %、

N ： 0 ～ 0 . 2 %、

残部：鉄および通常存在する不純物、

を有することを特徴とするフェライト鋼。

【請求項 2】

請求項 1 において、M o の全部または一部を W に置換したことを特徴とするフェライト鋼。

【請求項 3】

請求項 1 または 2 において、希土類金属を 1 種以上含有することを特徴とするフェライト鋼。

【請求項 4】

請求項 1 において、Ti、Nb、Zr および / または Hf を合計で 0.1 % 以上含有することを特徴とするフェライト鋼。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載のフェライト鋼を製造する方法において、基材合金を Al または Al 合金で被覆する工程を含み、該基材合金は質量 % で下記の組成：

Ni : 1 % 未満、

Cr : 15 ~ 27 %、

Al : 0 ~ 5 %、

Mo : 0.5 ~ 5 %、

Nb : 0.01 ~ 2 %、

Ti : 0 ~ 0.5 %、

Y、Sc、Zr および / または Hf : 0 ~ 0.5 %、

例えば Ce または La のような希土類金属 (REM) の 1 種以上 : 0 ~ 0.2 %、

C : 0 ~ 0.2 %、

N : 0 ~ 0.2 %、

残部：鉄および通常存在する不純物、
を有することを特徴とする方法。

【請求項 6】

高温用途用のワイヤ、ストリップ、フォイルおよび / またはチューブの形態の製品であって、請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項記載のフェライト鋼から製造されていることを特徴とする製品。

【請求項 7】

請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項において、触媒コンバータ用途における支持材料として使用することを特徴とするフェライト鋼。

【請求項 8】

請求項 1 から 4 までのいずれか 1 項において、加熱用途および炉用途に使用することを特徴とするフェライト鋼。